

# みつき便り

147号  
12月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと  
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに  
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成30年12月1日 [https://itbs-ecopo.jp/environsurvey\\_report](https://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report)

## クロマツ

見次公園に一本しかないと思える松が、池の小島に植えられています。黒松です。

実は松ぼっくりの種子は食用ともなります。北半球に分布し、代表的な種類だけでも二十種以上あり、もみ、ツガ、シラビソなどもその仲間です。クリスマスツリーもモミの木が使われていますね。

黒松は白砂青松（はくしやせいしょう）の松で美しい景観は日本を代表する景色です。忠臣蔵で浅野内匠頭が刃傷に及ぶ場面は有名ですが、これ



は江戸城松の廊下での出来事で襖に立派な松の木が描かれています。

余談ですが、鰻井などは松竹梅とランクされますがトツプに位置づけられるのは、いつも緑色で形の良い姿が評価されているのかもしれませんが。

(重)

## イロハカエデ

イロハカエデは「イロハモミジ」「タカオカエデ」などとも呼ばれるカエデ科の樹木です。東アジアに自生し、日本では本州以南の低い山に多く見られます。

カエデの仲間は二五種あるといわれていますが、イロハモミジが、その代表例のようです。

イロハモミジは葉が七つに分かれているものが多く、「いろはにはほへと」と数えられることから「イロハモミジ」と呼ばれ、タカオカエデは紅葉の名所として知られる京都の高雄に多いことによるといわれます。

「カエデ」と「モミジ」は



呼び方がちがうだけでカエデ科の樹木の中で、特に美しく紅葉した葉をモミジと表現しています。

見次公園には南側入り口あたり一本あります。十一月下旬なのに、まだ、緑緑しています。子供の手のひら程の葉ですが、一葉手にとつて、「テン、ジン、サマ、ノ、モ、ミ、ジ」と数えてください。数が合いましたか？

(静)

うらを見せ おもてを見せて  
散るもみぢ 良寛